

■ 銘柄:東京白金 ■

氏名 田栗 満

## 4140円を下回る時には売りがか・・・



### ■ コメント ■

本日の白金は、27円高の4184円で終わっている。東京(15:30)の白金スポット・レートは1533ドル。  
 本日の東京市場は、寄り付きからNY高を受け一時4199円まで高値を追ったが、4200円の壁を上回ることが出来なかった事から日計りのな利食いに押され、徐々に水準を切り下げると4167円まで下落したが、為替や南ア問題の浮上に戻りを見せて終っている。為替は、雇用統計を前に円高の動きを強めているが、昨日から小沢元幹事長が為替介入に対して積極的な発言が聞かれ、84円台では底堅さを見せている。その為、白金スポット・レートが1500ドルを割り込まない状態で推移しているため、4150円を下回ると買い戻しが強まる状況となっているのではないかと。白金チャートは、徐々に下値水準を切り上げながら動き出しているが、オシレーターは、ストキャスティクスが売りのまま、相対力指数は上昇ラインを維持しており買いのままで推移しているが、その為、本日の安値4140円を下回る値動きが起きれば、再度下値を試す可能性は残っている。(16:15記 田栗)

### ■ テクニカル ■

移動平均(10MA)	4169円
移動平均(40MA)	4288円
RSI(9日)	44.53%
%D	48.11
slow%D	54.79

### 商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。

詳細につきましては、みんなのコモディティ研究所右上に掲載されている『取引の重要事項』をご確認ください。